

令和 3年度 「校庭芝生化地域連携事業」 実施報告書

区市町村名 瑞 穂 町

学校名 瑞穂町 立 瑞穂第五小学校

1 事業目的 協議会名 瑞穂第五小学校芝生維持管理委員会

学校と社会教育団体、保護者等の地域の方による校庭芝生の維持・管理活動を連携・協働できる仕組み作りを推進することで、学校を中心とした地域のコミュニティーを形成するとともに児童の心身の成長・発達や地域の教育力の向上、まちづくりへの貢献(芝生化による意識の向上、地域への愛着)をめざす。

2 主な取組と成果

・新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら2学期に<芝生活用事業>として、【高齢者と子供の集い】【グランドゴルフ大会】を企画し、地域の方の協力を得て、子供たちと地域の方々との交流を通して、子供の健全育成と地域の活性を図る計画していたが、2学期前半に、校内及び学区内にて感染の流行があったことから、地域協力団体との話し合いにおいて、無理をせず、中止との判断となった。

・校庭芝生を活用した児童主体の体力向上の取組の実施
毎学期1回、「スポーツ旬間」を実施。体育委員会児童主催で休み時間に体力向上を目指した運動遊びを実施。スポーツ旬間で様々な種類の運動の場を設定したり、運動用具を開放したりした。その取組から、休み時間の遊びの種類が増え、それらを使って、工夫した遊びも見られた。運動、体力向上への関心が高まり、体力向上につながっている。

・縦割り班活動での芝生校庭の活用
・<芝生維持管理事業>として、芝刈り、施肥、散水、雑草取り、オーバーシード等も例年通り実施したが、芝生維持管理委員会とPTA役員の少数に絞ったメンバーで実施。芝生の維持管理について共通理解することができ、芝生に対する理解が広がるとともに、さらに良質な環境を作ろうとする意識が高まった。

3 取組内容

○グリーンロード大会(学校行事)、高齢者と子供の集い・グランドゴルフ大会(地域連携事業)については新型コロナウイルス感染症予防のため中止。

○スポーツ旬間体育委員の児童が準備・片付けをし、積極的に外遊びを続けていく態度を養う。

・1学期(5月24日～6月4日)「チャレンジスポーツテスト」
校庭芝生内に「ソフトボール投げ」「50m走」「上体起こし」等の体験コーナーを作り、各種目を体験したり、記録計測を行ったりした。

・2学期:(11月8日～11月20日)「運動の秋、たくさん体を動かそう」
校庭芝生内に、「グリーンフラッグ(ビーチフラッグの芝生版)」「フリスビースロー」「サークルドッジボール～何秒逃げられる?」等を設定し、多様な動きをつくる運動遊びをする。

・3学期(1月17日～1月27日) *体育委員会で内容検討中。

○全校たてわり班遊び集会(毎月1回程度 朝の時間 全校児童232名)
・1～6年生で編成されたたてわり班で、6年生がリーダーとなり異年齢集団で遊びを楽しむ。



4 今後について

○地域とのコミュニティーをより一層充実させ、子供の健全育成・体力向上を目指した取組をさらに進めていく。

○芝生を楽しむ機会の充実、芝生を活用した運動の取組、地域の方との交流の推進を図る。

○幼保小連携の観点から、学区内幼稚園・保育園にも運動会等の行事での活用はもちろんのこと、日常的に公園遊びの代わりに本校の芝生の校庭を活用する等積極的に芝生の校庭利用を啓発していく。

○校庭芝生化になって10年を迎えるにあたって、
育成しやすい芝生への転換(野芝からティフトンへ)
周囲を山林に囲まれている環境から年々雑草の混入割合が増えていることへの対策
乗用芝刈り機の老朽化等による作業効率の低下(夏季の芝刈り1回の作業時間4～5時間)
といった課題も出てきているので、対応策を検討していく。